

4年 算数

画像ノート 15~28

P.18 たしかめよう

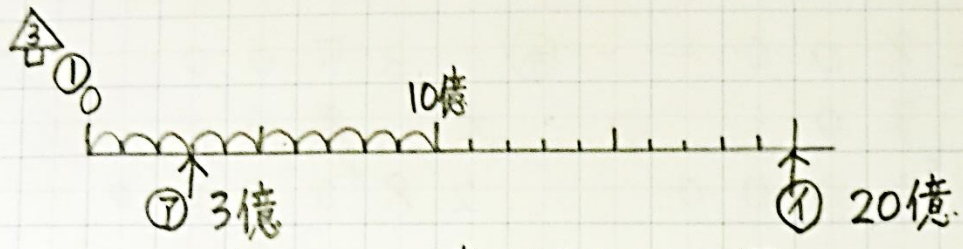
基本スキル ⑧ をやろう

- ① 三億四百二十八万五千
- ② 五兆二百四十億七千万

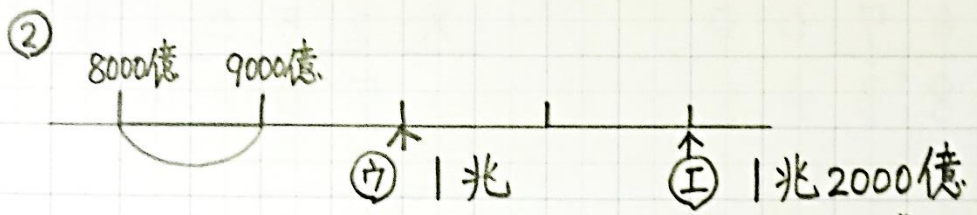
※ -の位から
4つつ区切って読む

- ① 320億
- ② 999999999999
- ③ 10

※ -の位の4ページ
確認
必ず



※ 0から10億まで目もりは10個
 $10 \div 10 = 1$ 1目もりは1億



※ 1目もり1000億なので、1000億ずつふえる。

- ① 4億 10倍 → 40億 ② 1300億 10倍 → 1兆3000億
- $\frac{1}{10} \rightarrow 4000万$ $\frac{1}{10} \rightarrow 130億$

※ 1-7ページを**確認**

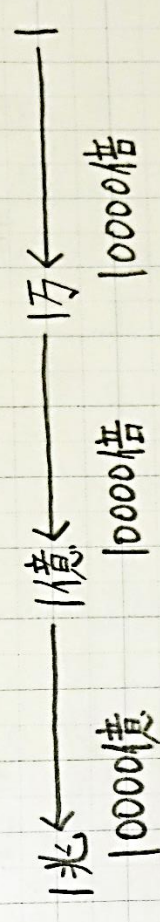
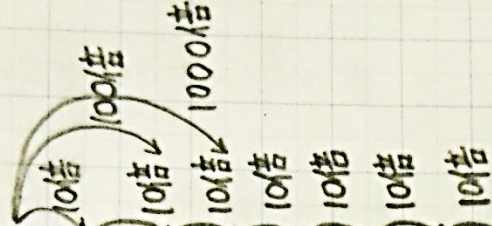
$$\begin{array}{r}
 481 \\
 \times 703 \\
 \hline
 1443 \\
 3367 \\
 \hline
 338143
 \end{array}$$

理由

→ 481 × 700なので 481 × 7 × 100で
2けたずらして書かなくてはいいけない
から

P19 つないでいこう。

1																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000			1													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10000			10													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100000			100													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000000			1000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10000000			10000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100000000			100000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000000000			1000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10000000000			10000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100000000000			100000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000000000000			1000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10000000000000			10000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100000000000000			100000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000000000000000			1000000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10000000000000000			10000000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100000000000000000			100000000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1000000000000000000			1000000000000000													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



グラフや表を使って調べよう (今までの復習)

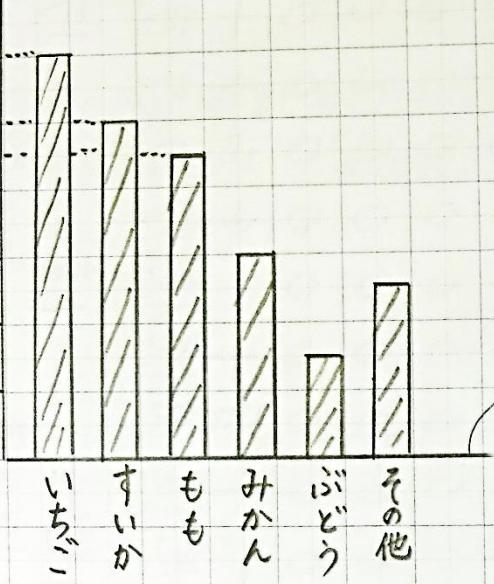
棒グラフ... ① 棒の長さによって、数や量の大小をくらべる時に使う。

② グラフの左側が一番大きい数になり、右側へ行くほど小さい数になる。

③ 一番右側に、その他をおく。

棒グラフ (人)

たてじく
目もりは
きんぐに
一番上に
たいを
()で表す



すきなフルーツ調べ → ひやたい 表題という

何を調べたのかを分かるように、グラフには、表題を必ず書く

よこじく
調べたこうぐを、
左から大きい順で並べる。
一番右側にその他をおく

たてじくの目もりに合わせて、それぞれのこうぐの人数を読む

いちご 12人、すいか 10人、もも 9人

みかん 6人、ぶどう 3人、その他 5人

すきなフルーツ調べに参加した人は、全部で 45人

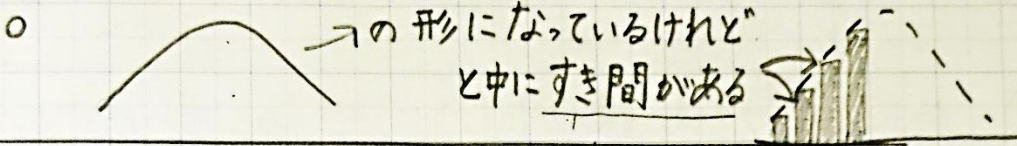
$$(12 + 10 + 9 + 6 + 3 + 5 = 45)$$

P.20 ~ P.23

折れ線グラフを知る.

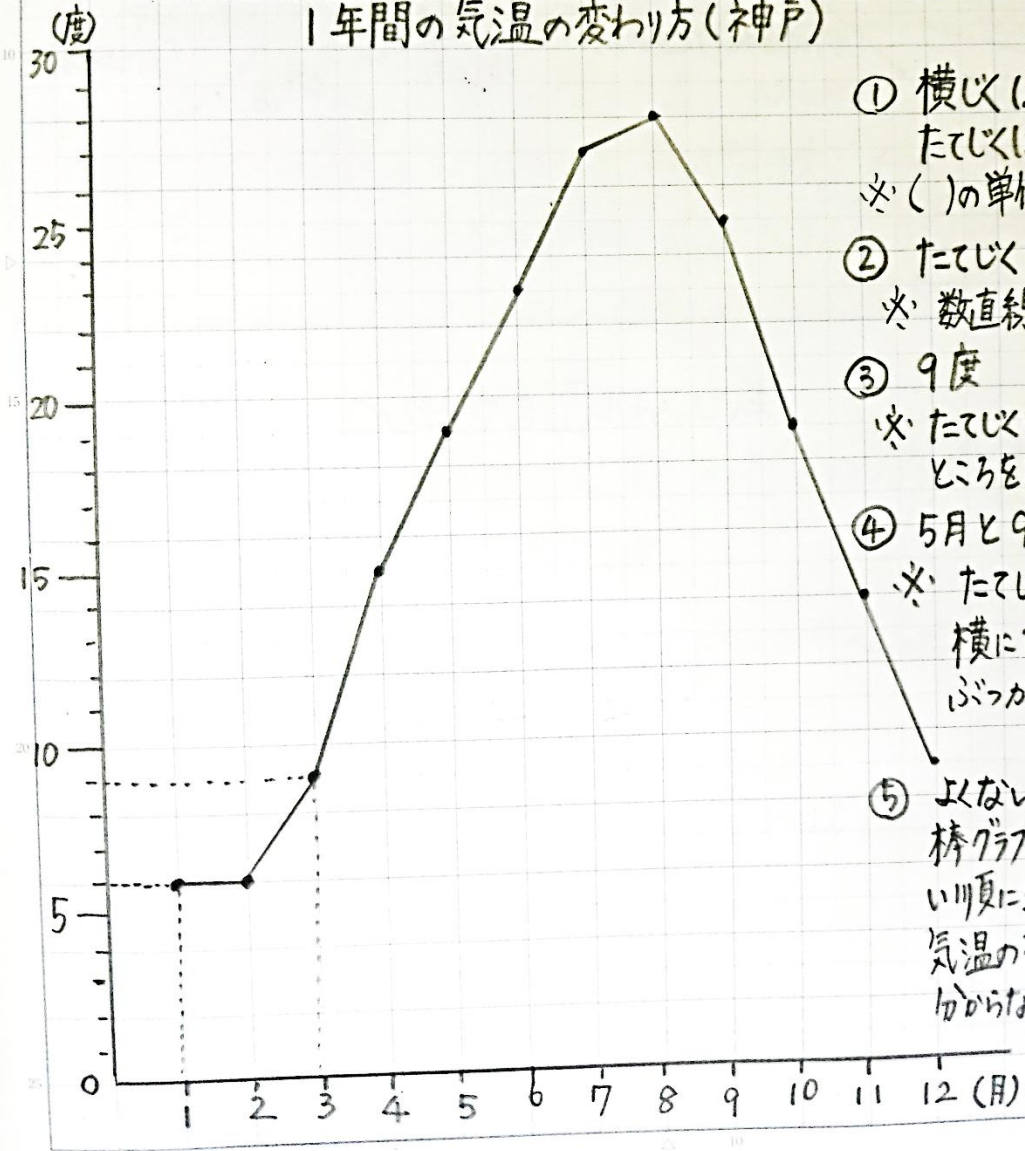
P.21 ① 神戸の気温の変わり方を表すには、どのようなグラフにしたら？

- P.21の1年間の気温の変わり方(神戸)は、棒グラフ。
1,2月が低くて、7,8月が高い。



変わっていくものの様子を表すには折れ線グラフを使う.

1年間の気温の変わり方(神戸)



- ① 横は、月
たては、気温
※ ()の単位を確認する
- ② たては1目盛りは1度
※ 数直線の読み方と同じ
- ③ 9度
※ たてはと横はのぶつがた
とろを読む
- ④ 5月と9月
※ たてはの19度を
横にずらしていき、点の
ぶつがる月を読む
- ⑤ よくない。
棒グラフのように気温の高
い(夏)に並べると月による
気温の変化の様子が
分からないから。

P23 ② 折れ線グラフの変わり方

こうた 2月から8月までは、気温が上がっています。

みさき 8月から12月までは、気温が下がっています。

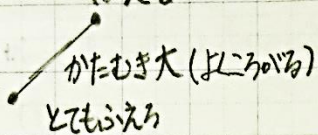
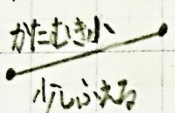
しほ 気温の上がり方がいちばん大きいのは3月から4月です。

りく 気温の下がり方がいちばん小さいのは8月から9月です。

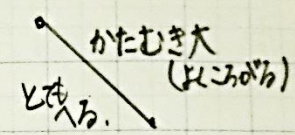
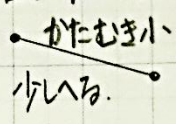
🐼 気温が変わらないのは11月から2月です。

🐼 折れ線グラフでは、線のかたむきに注目すると、変わり方がよく分かる。

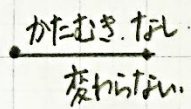
• 右に上がる → ふえる



• 右に下がる → へる



• まっすぐ → 変わらない



まねんスキル9をやしましょう。

P.24 ~ P.27

折れ線グラフのかき方を知る。

P.24③

折れ線グラフのかき方

- ① 横じく「月」をとる。同じ間^{かん}かくて目もりをふる。(月)のように()に単位を入れて一番最後に書く。
- ② たてじく「気温」をとる。一番高い気温が表せるように、同じ間^{かん}かくて目もりをふる。(目もりのつけ方を考える。〰も使う。)(度)のように単位を()に入れて一番上に書く。
↳1-ト22ページ
- ③ たてじくと横じくがぶつかるところに点を打ち、直線をつなぐ
- ④ 表題を書く。(表題を一番最初に書いてしまってもOK。) ↳かならず定めておく。

※ 折れ線グラフは変化の様子を表すためのグラフなので、たてじくも横じくも、目もりを同じ間かくでとることが大事。

(たてじくと横じくと両方共 同じ間かくにする必要はない。
たてじくはたてじくで、横じくは横じくで同じ間かくにならなければよい。)

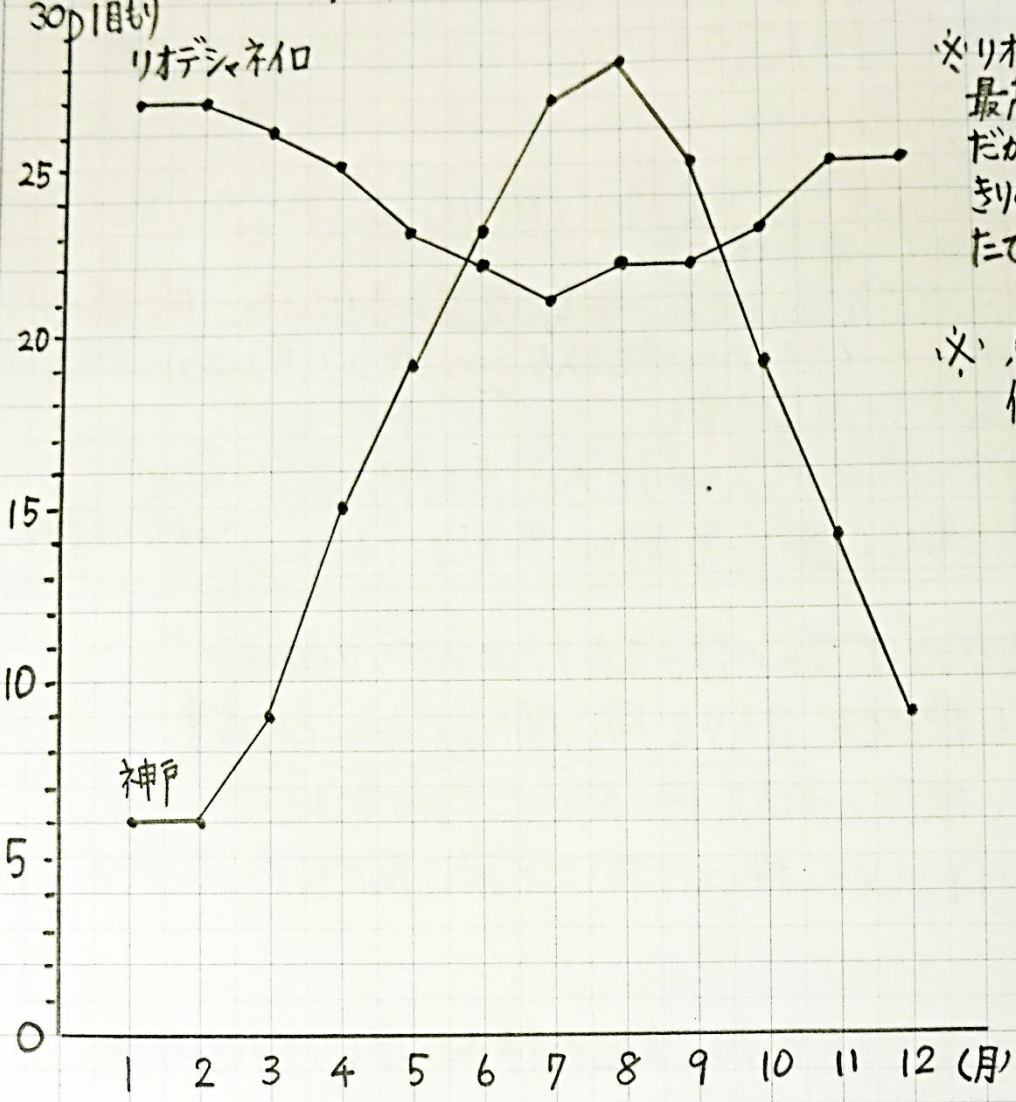
※ どのように目もりをとったら、変化の様子が分かりやすくなるのか、考え、目もりをとることが大切。

※ 一つのグラフに、何本かの折れ線グラフを重ねる時は、直線の色を変えると見やすい。

※ 〰 省略^{しょうりゃく}の記号を使うと、変わり方の記録がより分かりやすくなる。
↳1-トの22ページ

P.24 Ⅱ に折れ線グラフを書いてみよう。

1年間の気温の変わり方 (リオデジャネイロ)(神戸)



※リオデジャネイロの最高気温は27℃だから、27℃より上でのきりかき30℃までたてしめの目もりをとる。

※点と点は定規を使って線を引く。

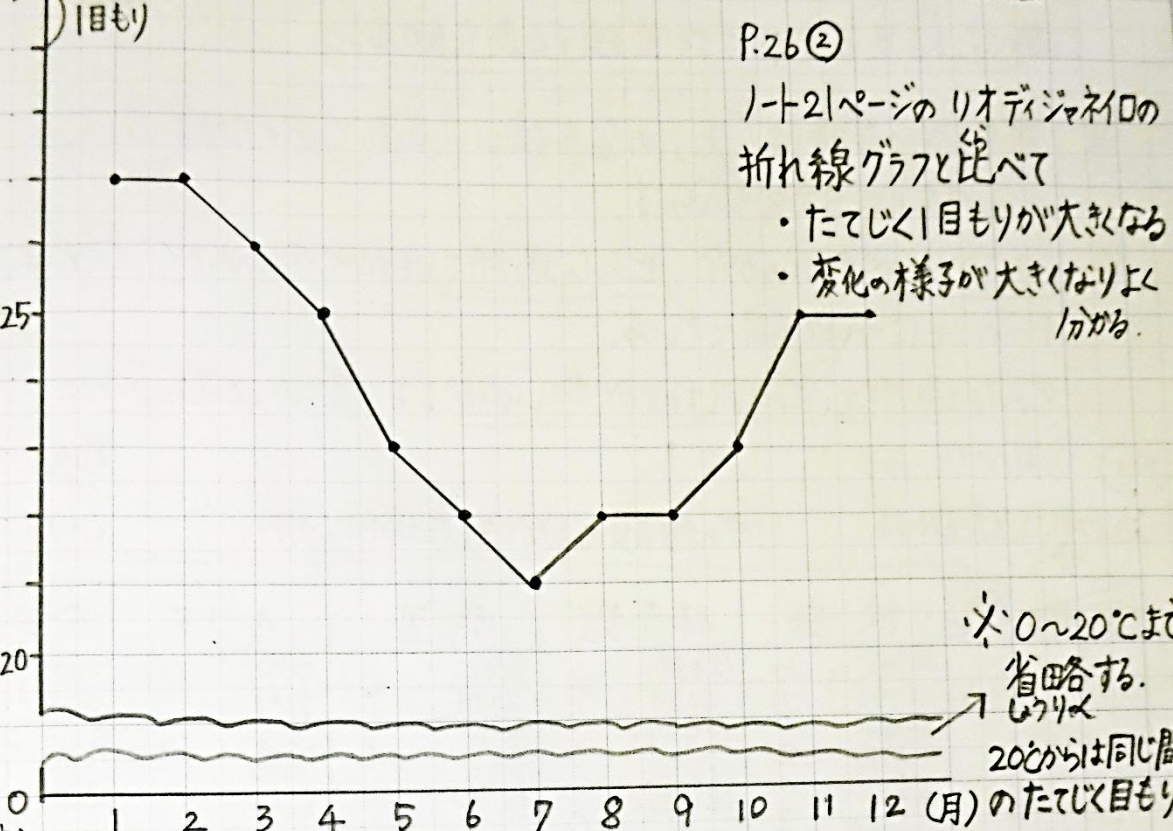
P.25 ① 気温が変わっていきなところがある。4月と5月の間の気温の上がり方が一番大きい。20℃以下にはならない。

P.25 ③ 6月 1度 ↳ もっといいかき方はないかな? 1+22ページ

P.25 ④ リオより神戸の方が気温が高いのは、6月~9月
 リオは神戸より気温の変化が小さい。
 リオと神戸で気温のちがいがいちばん小さいのは6月で1度。
 いちばん大きいのは1月と2月で21度。

🐼 2つのグラフを重ねると変化のちがいが分かりやすい。

1年間の気温の変わり方 (リオデジネイロ) P.26 ④



P.26 ②

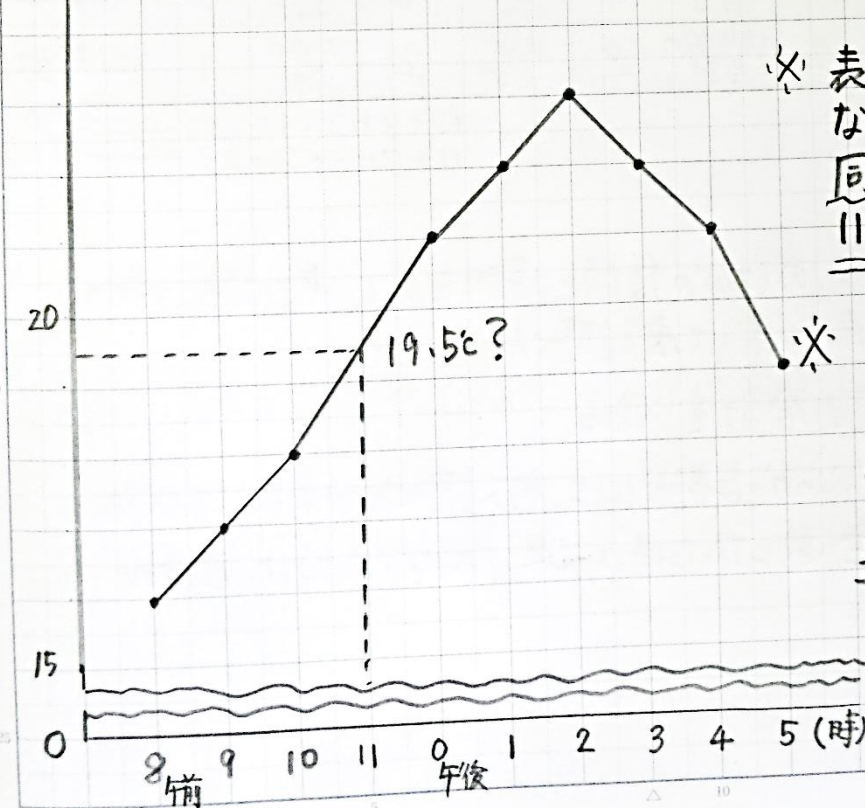
1-21ページのリオデジネイロの折れ線グラフと比べて

- たてじく1目もりが大きくなる
- 変化の様子が大きくなりよく分かる。

※ 0~20℃までは省略する。
↑ 1cm

20℃からは同じ間隔

1日の気温の変わり方 (4月25日調べ) P.27 ⑤



※ 表には11時の記録がないが、横じくの目もりは同じ間隔でないとはいけなく、11時をよばしてはいけなく。

※ 11時は、19.5度くらいとグラフからは読めるが、それは調べた気温でないので、正しくない。

おんすき10をやる。

P.28 ~ P.31

調べた結果を分かりやすく整理する表を知る。

- ※ 数を調べる時は、「正」の字を使い (五画で分かりやすい) チェックをしてミス減らす。
- ※ どんなけがが多いのか? どんな場所でけがが多いのか?などは、1つのことについて調べている。
どんな場所でどんなけがが多いのかは、2つのことを同時に

P.29① 調べている。

※この2つのことを表題に転. (けがの種類とけがをした場所(4月))

単
位
人

けがの種類	校庭	体育館	教室	ろう下	合計
すりきず	校庭で すりきず 7	体育館で すりきず 4	教室で すりきず 0	ろう下で すりきず 0	けが 合計 11
打ぼく	校庭で 打ぼく 2	体育館で 打ぼく 3	教室で 打ぼく 1	ろう下で 打ぼく 1	けが 合計 7
切りきず	校庭で 切りきず 2	体育館で 切りきず 0	教室で 切りきず 1	ろう下で 切りきず 0	けが 合計 3
ねんざ	校庭で ねんざ 1	体育館で ねんざ 1	教室で ねんざ 0	ろう下で ねんざ 0	ねんざ 合計 2
合計	校庭の 合計 12	体育館の 合計 8	教室の 合計 2	ろう下の 合計 1	全人数 23

$$12 + 8 + 2 + 1 = 23$$

$$11 + 7 + 3 + 2 = 23$$

表を作る時.

- ① P.29のけが調べ(4月)のけがの種類と場所を見て、あてはまるところの部分は「正」の字を一画ずつ書いて全調べする。
- ② それぞれ たてと横の合計を入れる。
- ③ たてと横の合計が、ぶつかった部分には、何人調べたのかを数えて記入する。
たてと横の合計が全人数になった時は、OK. ならなかった時は、どこかがまちがっている。

P 29のけが調べ(4月)を見て、2つの表に数を入れて完成させよう。

けがの種類とけがをした時間(4月)

けがの種類 \ 時間	休み時間	じゅ業中	昼休み	放課後	合計
すりきず					
打ぼく					
切りきず					
ねんざ					
合計					23

表題()

学年 \ けがの種類	すりきず	打ぼく	切りきず	ねんざ	合計
1					
2					
3					
4					
5					
6					
合計					23

「正」の字を書いてやってみよう。正の字は最後は数字にします。

P.30 ②

① 教科書の表に書こう。

先週	○	12	先週借りた人	} 先週だけ見る。
	×	18	先週借りていない人	
今週	○	11	今週借りた人	} 今週だけ見る
	×	19	今週借りなかった人	

R31②) 1-1に「正」の字を書いて調べ。教科書の表に書こう。

先週	今週	人数	正の字	意味
○	○			先週も今週も借りた。
○	×			先週は借りて今週は借りない。
×	○			先週は借りない今週は借りた。
×	×			先週も今週も借りない。

} 先週も今週も両方見てみる。

4年1組の本の利用のようす (人)

		今 週		合計
		借りた	借りない	
先週	借りた	○ 8	㉞	㉚
	借りない	㉟	㉟	△ 18
合計		□ 11	㊦	㊦

- ... 先週も今週も借りた
- ㉞... 先週は借りて今週は借りない
- ㉟... 先週は借りず今週借りた
- ㊦... 先週も今週も借りない
- ㊦... 先週借りた人の合計
- ... 今週借りた人の合計
- ㉟... 今週借りていない人の合計
- △... 先週借りていない人の合計
- ㊦... 4年1組全員の人数

🐼 2つの見方で分けて表に整理して表すと、知りたいことがより分かりやすくなる。

P.31 ㊦

- ① 19人
- ② 30人

※ 指定されたところを指でさわり確認しよう。

まねんスキル ⑪ と ⑫ をやろう。

P.32 しかしてみよう

棒グラフと折れ線グラフを重ねて使ってみる。

棒グラフ 救急車で運ばれた人数を表す。

たてじく左側が棒グラフの目もり。

棒グラフと折れ線を重ねて使う時は、多い順には並べない。

折れ線グラフ 最高気温を表す。

たてじくの右側が折れ線グラフの目もり。

- ① 6日. 34.2度
(棒グラフ) (折れ線グラフ)

- ② ふえている. (折れ線グラフと棒グラフの両方を見る。)

- ③ 正しい。
気温が上がると人数がふえている。
気温が下がると人数が減っているから。

まねてんスキル 13 をやろう。

P33 たしかめよう

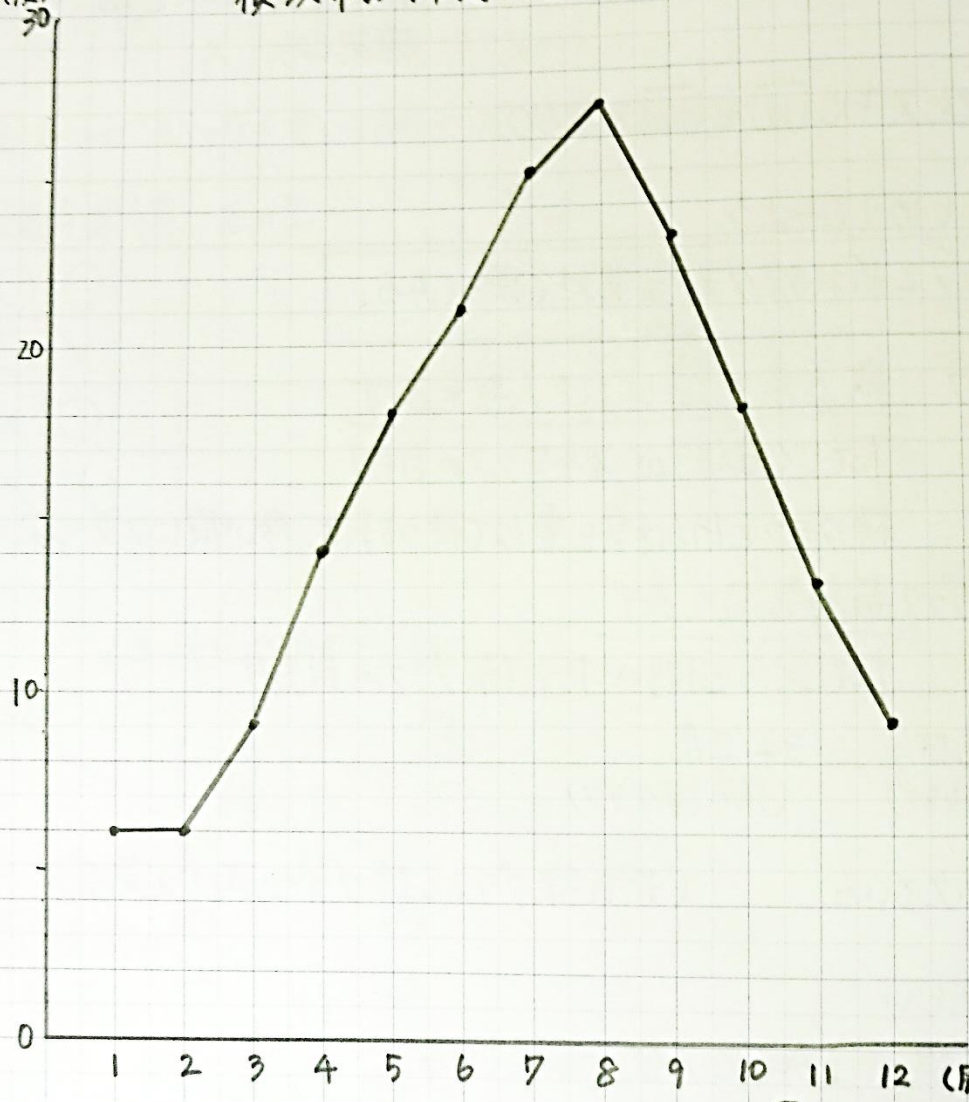
- △ ① たて 気温 横 月
- ② 8月と9月の間

- ※ じの()を見よう。
- ※ 下がる→右に下がる部分

△ 教科書に書こう。

(度)
30

横浜市の1年間の気温の変わり方



△

場所	町	東町	西町	南町	北町	合計
女差点や せき川通学路		4	3	⑧ 4	5	16
暗がりや 柳は暗い道		3	2	1	1	⑩ 7
人気の少ない 場所や空き家		0	⑦ 2	1	0	⑨ 3
合計		⑥ 7	7	⑫ 6	⑬ 6	④ 26

- ④ 16 - 4 - 3 - 5 = 4
- ⑩ 3 + 2 + 1 + 1 = 7
- ⑧ 4 + 3 + 0 = 7
- ⑦ 7 - 3 - 2 = 2
- ⑨ ⑧ + 1 + 1 = 6
- ⑬ 5 + 1 + 0 = 6
- ⑥ 16 + ⑩ + ⑨ = ⑧ + 7 + ⑬ + ⑬ = 26

P. 34 データの特長に注目して目的にあったグラフを選ぶ。

棒グラフ いくつかのこむの数の大小を比べる。

こむは、多い順に左側から並べることが多い。

折れ線グラフ 連続している変化の様子を表す。

線のかたむきで変化の大きさを表す。

P. 35 おぼえているかな

① ① $0.5 > \frac{4}{10}$ ② $0.9 < 1$ ③ $0.2 = \frac{2}{10}$ * $0.1 = \frac{1}{10}$
($\frac{5}{10}$) ($\frac{2}{10}$)

② ① 1dL

② ポット 7dL 水筒 6dL びん 3dL コップ 2dL

③ $6 \div 2 = 3$ 3倍

③ ① 806 3750 0000 0000 ② 320 0000 0000

③ 40000 0000 0000 ④ 70 0000 0000

④ ① $42 \div 6 = 7$ ② $53 \div 8 = 6 \dots 5$

③ $40 \div 7 = 5 \dots 5$ ④ $72 \div 9 = 8$

⑤ $27 \div 4 = 6 \dots 3$ ⑥ $60 \div 2 = 30$

⑦ $63 \div 3 = 21$ ⑧ $55 \div 5 = 11$

数のならび方

① 1. 3. 5. 7. 9 11 前の数に②をたす。

② 2. 4. 6. 8. 10 12 2とひく

③ 3. 6. 9. 12. 15 18 3のたんの答え

④ 1. 2. 4. 7. 11 16
↑ ↑ ↑ ↑ ↑
+1 +2 +3 +4 +5
前の数に ^{じぶん} 順番に 前の数に +1. +2. +3. とたえていく。